



2015年度 第34回横浜開港祭 開催実施要項



“Thanks to the Port” 「開港を祝い、港に感謝しよう」
～ 市民が創りあげた国際港都 みんなで祝おう誕生祭 ～

1.開催主旨 日本の開国の先駆けとして開港し当時人口482人程度だった小さな村は、その歴史から文化・経済の交流拠点として発展し、156年の時を経て人口371万人を有する大都市となり、現在も開港当時のスピリットを引き継ぐべく、世界の人々が集まる交流拠点都市を目指し発展を続けております。1981年第1回横浜国際デー“プレ横浜どんたく”として産声を上げ、「開港を祝い、港に感謝しよう」というテーマの下、市民が一堂に会する「市民祭」として開催されている「横浜開港祭」は本年で34回目を迎えます。初夏の訪れを告げる夏の風物詩として定着した「横浜開港祭」の歴史をしっかりと受け継ぎ、時代にあった工夫を取り入れ、まちの活性化に繋げる為に継続していかなくてはなりません。

第34回横浜開港祭は、5月30日・31日、6月2日の開催とし“Thanks to the Port”「開港を祝い、港に感謝しよう」～市民が創りあげた国際港都 みんなで祝おう誕生祭～をコンセプトとし、これまでの歴史を受け継ぎ、未来へ永く繋がる開港祭の礎を受け、更に発展させていく横浜開港祭を実施いたします。

我々の原点である港に感謝をし、開港という歴史をしっかりと触れて頂き横浜市民と共に港の誕生日を祝い、横浜の更なる発展に繋がる原動力として参ります。

6月2日の開港記念日は、港の誕生日であると同時に市民の誕生日とも言ふべき記念すべき日であります。次世代を担う子ども達、その子ども達へ繋ぐべく現在を支えている大人達、全ての市民が一体となって自分達の誕生日を共に創り祝って参ります。1年に1度、横浜市民としての自身のアイデンティティを実感していただく日とし、横浜市民として誇りを感じ、国際港都としての特徴を存分に取り入れた「横浜開港祭」を創り上げます。

- 2.開催目的**
- (1)市民と共に横浜開港記念日を祝い、港へ感謝する
 - (2)市民参画型「市民祭」の拡充
 - (3)笑顔あふれる豊かな市民文化の創造
 - (4)港町横浜らしい活力あるまちづくり
 - (5)横浜の観光と経済の活性化

3.開催時期 2015年5月30日(土)・31日(日)・6月2日(火)

4.開催場所 臨港パーク及びみなとみらい21地区、新港地区、その他周辺

5.主催 横浜開港祭協議会
横浜市 横浜商工会議所 (公財)横浜観光コンベンション・ビューロー
(一社)横浜青年会議所

6.後援

読売新聞東京本社横浜支局 tvk((株)テレビ神奈川) 朝日新聞横浜総局 毎日新聞横浜支局 アール・エフ・ラジオ日本	神奈川新聞社 神奈川県 NHK横浜放送局 産経新聞社横浜総局 横浜エフエム放送(株) (公財)帆船日本丸記念財団 東京新聞横浜支局 横浜市ケーブルテレビ協議会 横浜港ポート天国推進連絡協議会 (公社)横浜市国際交流協会 駐日英国大使館 在日本大韓国民団神奈川県地方本部 その他予定(順不同)
--	---

(公財)マリンスポーツ財団
(株)横浜銀行
(株)タウンニュース
(公財)よこはまユース
横浜市国際学生会館
駐横浜大韓民国総領事館

7.協力

(公社)神奈川県観光協会 横浜市町内会連合会 (株)ポートサービス 第三管区海上保安本部 日産スタジアム 横浜F・マリノス ヨコハマ経済新聞 横浜中華街発展会(協) (協)伊勢佐木町商店街 馬車道商店街(協) 鎌倉エフエム放送(株) 赤い靴記念文化事業団 (独)航海訓練所 NPO法人横浜・七つ星 京浜港湾事務所 横浜スポーツエンターテイメント(株)(横浜ビー・コルセアーズ)	パシフィック横浜((株)横浜国際平和会議場) (一社)横浜港振興協会 横浜海上保安部 (株)横浜スタジアム (株)横浜DeNAベイスターズ 横浜FC 横浜元町ショッピングストリート 国土交通省関東地方整備局 伊勢佐木町1・2St 横浜高速鉄道(株) (株)ロイヤルウイング 横浜・八景島シーパラダイス (公社)神奈川県産業廃棄物協会青年部会 NPO法人ママプラグ ヨコハマ未来地図づくり100人委員会 その他予定(順不同)
---	--

